

令和6年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立産業文化センター	所管課	文化・スポーツ振興課
指定管理者名	毎日興業株式会社	施設分類	市民文化系施設（集会施設）
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和7年3月31日	利用料金制導入	一部利用料金制（利用料金及び指定管理料）
導入年月日	平成21年4月1日	指定回数	4回
施設設置目的	市内の産業の振興と市民の文化の向上を図るため設置する。		
施設概要	【開設】平成5年11月1日 【延べ床面積】1119.9㎡ 【構造】鉄筋コンクリート 【主な施設】多目的ホール、ギャラリー、会議室3部屋		
管理運営の基本方針	産業の振興と市民の文化の向上を図るため、市民の平等な利用が確保され、地域連携及び街づくりに貢献する施設を目指す。利用者に安心、安全を提供するとともに、ホスピタリティにあふれた快適な施設の提供を目指す。		
指定管理者の主な業務	ホール・ギャラリー・会議室等の貸し出し、施設及び設備の維持管理、施設並びに附属設備の利用に関する業務 産業の振興と市民文化の向上を図るための自主事業		

評価項目

- 【評価基準】 5：指定管理者のノウハウや努力等により、要求水準を大きく上回っている場合
4：要求水準を上回っている場合
3：要求水準を満たしている場合
2：要求水準を下回っている場合
1：要求水準を大きく下回る場合（改善指導が必要）

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	埼玉県で一番お客様満足度の高い産業文化施設にすることを目指し、ひとが集まる施設環境をつくるため、施設の運営管理や自主事業等を実施し、産業の振興と市民の文化の向上に努めた。	4
区分	具体的な取組の状況・実績	
館内外の美化	壁紙や塗装作業でリフレッシュした館内を維持できるよう掲示物の掲示方法を工夫し、館内の美化に努めた。 全室の拭き掃除は徹底し、受付と清掃と連携して、汚れの予測できるところは念入りにチェックした。 館外の雑草はこまめに除去し、樹木は伐採剪定を実施した。	
安全対策	自転車で来館する利用者に適切に駐輪をするよう案内を行った。また、交通の妨げになるような駐輪がないよう見回りを実施した。 ホールへ上段からの入場する際、足元の明るさが不足していたため、簡易人感センサー付きの灯りを設置した。	
自主事業	夜間帯などの空き時間を利用し、24種34講座の自主事業を開催した。空手や外国語などレベルに応じて複数クラスを展開している。講座は、入会前後の認識のずれを解消するため、体験受講を推奨して、会員の定着を図った。 毎月第3木曜のマンスリーコンサートは恒例行事として定着した。年2回のDISCOはシニアを中心に多くの参加があった。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
外部専門家からの指摘事項の概要	自己資本比率54.6%で良好。キャッシュフローも問題なし。令和6年3月期も前期同様に売上高、利益ともに順調に推移。特に問題はなし。総じて、前期と同様に、内容は良好。	3
その他特記事項	指定管理者としての組織体制は安定しており、市民の平等利用は確保されている。	

3 施設の有効活用

施設利用状況		利用区分等	予定（計画・目標） 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	4
		多目的ホール	42,100 人	18,891 人	101.0%	44.9%	
		多目的ギャラリー	32,500 人	12,660 人	103.0%	39.0%	
		第一会議室	5,300 人	4,004 人	108.0%	75.5%	
		第二会議室	7,800 人	7,562 人	117.0%	96.9%	
		第三会議室	8,300 人	6,823 人	109.0%	82.2%	
		(特記事項) 会議室の稼働は高いが、ホール、ギャラリーの稼働が低くなっている。ホール、ギャラリーの稼働を高めるための施策が必要である。					
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定事業	施設の利用受付及び許可等に関する業務 利用者への施設の貸出、利用相談、利用支援に関する業務 文化の振興及び産業の振興に関する事業 ・地元落語 しゃべって！さいたま〜ふじみ野公演〜 施設の管理運営及び付帯設備の維持管理業務		追加事業	公共施設予約システムの変更に伴う予約管理やクレジット決済等の対応		
				未実施事業	なし		
	自主事業	・自主事業文化系教室の実施 674回 ・自主事業健康系教室の実施 502回 ・フクトピアと共同で夏休み教室（工作教室、貯金箱を作ろう）を開催した。 ・5月と11月にDISCOを開催した。 ・ふじみ野産文フェス2024を8月に開催した。		なし			
利用サービス向上の取組		・年度内で10回以上の有料利用があったホール・ギャラリーの利用者に、翌年度4月以降の同室利用を1回無料にする取り組みを実施した。 ・利用者の満足度向上のために、経年劣化の見られた電子ピアノを更新した。 ・イスや机の利用料を無料にし、利用者の負担軽減を図った					

4 利用者評価

区分	内容		評価
利用者の 要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
	(2) 調査、会議等の内容 実施時期：令和6年4月1日から令和7年3月31日まで 調査方法：アンケート用紙の配布、誰でも自由に投函できるアンケートボックス設置		
	(3) 調査、会議等の結果 調査結果：非常に良い・良いの評価の割合 ①スタッフの対応98% ②館内外美観99% ③施設の備品94% ④販売商品81% ⑤近隣施設と比較91%		
利用者からの 評価・要望・ 苦情等	(1) 良好とする評価 スタッフの画一的な対応ではなく、個々に応じたきめ細かく臨機応変な対応に感謝するという評価を得た。		4
	(2) 苦情・改善等の要望事項 利用時間前に到着した利用者から、利用時間前の入室を認めるよう要望があった。 《対応措置》 公共施設として、利用時間の公平性を確保する観点を丁寧に説明し、理解を得た。		

5 事業収支

(単位：円)

①指定管理 業務事業収支	指定管理者収支（ 令和6年度 ）				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和6年度決算			令和5年度決算（前年度）	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
収入	利用料金	16,663,000	利用料金	13,359,520	歳入	施設使用料		施設使用料			
	事業収入	0	事業収入	0		行政財産使用料	34,350	行政財産使用料	42,548		
	指定管理料	5,709,000	指定管理料	8,071,200		国庫支出金		国庫支出金			
	雑入	10,000	雑入	2,540		県支出金		県支出金			
	自主事業からの充当	3,200,000	自主事業からの充当	2,655,793		その他	86,715	その他	86,715		
	計	25,582,000	計	24,089,053		計	121,065	計	129,263		
	支出	人件費	15,075,000	人件費	13,121,386	歳出	修繕料		修繕料		
		消耗品費	375,000	消耗品費	423,324		保険料	12,424	保険料	11,953	
		光熱水費	4,695,000	光熱水費	4,263,170		指定管理料	8,071,200	指定管理料	7,849,150	
		委託料	2,234,000	委託料	1,817,260		業務委託料		業務委託料	3,448,500	
		賃借料	710,000	賃借料	805,308		土地・建物賃借料		土地・建物賃借料		
		通信費	389,000	通信費	230,636		その他		その他		
		保険料	25,000	保険料	32,167		工事請負費		工事請負費	75,777,650	
		修繕費	450,000	修繕費	447,688		備品購入費	120,120		768,900	
		事業費（市指定事業）	75,000	事業費（市指定事業）	63,550						
		公租公課	5,000	公租公課	3,000						
		一般管理費（本社経費等）	1,448,000	一般管理費（本社経費等）	1,448,000						
		その他	101,000	その他	96,625						
計	25,582,000	計	22,752,114	計	8,203,744	計	87,856,153				
収支	0		1,336,939		差引	△ 8,082,679		△ 87,726,890			
②市への納付金 ※納付金がある施設のみ	市への納付金	支出	0	支出	0						
③最終収支（①－②）	収支	0		1,336,939							
●自主事業収支	自主事業収支	収入	14,041,485	収入	8,969,783						
		支出	10,224,121	支出	6,313,990						
		自主事業収支	3,817,364	自主事業収支	2,655,793						
分析	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】								57.7%		
	事業収支における経営分析			利用料金収入は、計画値に対して99.3%となった。 附属備品利用料の変更や電気料金の値上げによる影響額として2,362,200円を補てんしたが、電気使用量について年間を通して削減に努めたほか、運営費の不足分については、自主事業の収支を運営費に充当することで収支の改善を図った。							
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由										

6 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

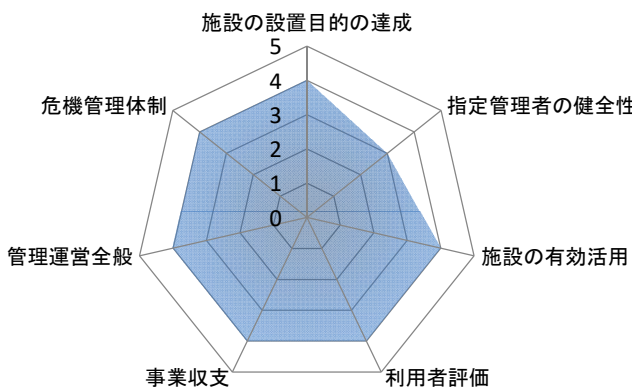
区分	確認内容		適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか		適	4
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか			
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか		適	
	配置実績	館長1名、副館長1名、受付4名、清掃2名		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		適	
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		適	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実にされたか		適	
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		適	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか			
特記事項	築30年以上が経過し、施設や備品に経年劣化が見られる中、電子ピアノの更新や、壁面での案内掲示を可能とするなど、利用者のニーズを反映しながら適切な施設運営に努めた。			

7 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも「否」の場合は「1」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	4
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項	ホール入場導線にセンサーライトを設置しつまずきによる事故発生防止に努めるなど、利用状況に合わせた利用者目線のサービスを実施した。		

総合評価

【総合評価】 A：とても優れている／B：優れている／C：適正である／D：努力が必要である／E：改善が必要である

評価項目		評価	総合評価		市民文化系施設（集会施設）	
総合評価	施設の設置目的の達成	4	B			
	指定管理者の健全性	3				
	施設の有効活用	4				
	利用者評価	4				
	事業収支	4				
	管理運営全般	4				
	危機管理体制	4				
評価理由		自主事業において、ふじみ野駅へのチラシ配架や市からのメール配信など、幅広い方法で周知を行い来場者の増加が図られたほか、利用者のニーズに応じた事業展開や施設管理を行うなど、利用者の拡充及び満足度の向上に努めた。				
取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項		実施状況		次年度へ向けての目標・取組・改善事項	
	コロナ禍以降利用人数は回復傾向が見られ、全施設的に前年度を上回ったものの、ホール及びギャラリーの稼働率は目標値から大きくかい離しており、依然として課題となっている。		窓看板、館内ポスター、館外用チラシを配布し施設の周知活動を実施した。		他の管理物件へのアピールや、立地上の好条件という利点を活かし、更なる認知度向上に努めたい。	

指定管理者自己評価	
(1) 評価期間の取組に対する評価	
① サービス向上に向けての取組	
産業文化センターの設置目的に基づき、公平、公正にサービスを提供し、市民から信頼される施設づくりに取り組んだ。市民のニーズを把握・理解し暮らしの満足度を高めるため、質の高いサービスの提供や適切な課題の解析を行い、以下の取り組みを実施した。 ア 前日申込みや当日の緊急利用に対して、自主の教室移動や時間差利用で、利用者の要望をできるだけ考慮して対応した。 イ ホール・ギャラリーで年度内に10回以上の同一者有料利用があった場合、翌年度以降の利用を1回無料にするサービスを継続して実施した。 ウ 経年劣化が見られた電子ピアノを新しいものに更新した。	
② 業務の効率化に対する取組	
ホール・ギャラリーで使用する備品類は多岐にわたるので、収納場所の整理・整頓・清潔・清掃に努め、効率良く使用できるよう努めた。請求書処理を電子化することで、本社経理部門との書類の受け渡しにかかっていた時間を短縮することができた。	
③ その他	
近隣のリニューアル施設と比較すると、施設、備品の新しさ(使い勝手の良さ)、利用可能時間のきめ細かさ、料金の安さ、駐車場の有無等の課題はあるが、駅近、規模感、経験豊富な舞台資格者による演出など当館ならではの優位性を活かす方法を考えながら運営に努めた。	
(2) 管理業務実施上の課題	
ホール、ギャラリーの稼働率が目標値とかい離しており、利用料金収入に影響を与えた。駅と行業施設の近くにあり、大きな集合住宅の近くにある広いスペースを十分に活かすため、さらなる地域との連携、広報活動が課題である。	
(3) 次年度以降の取組	
稼働率向上、利用者数向上、売上向上を目指し、ターゲットを明確にし、施設の特性を活かした企画を立案するとともに、十分な広報活動を行い、施設認知度を上げることで施設の活性化を図る。	